

隠岐圏域(島前)水害・土砂災害に関する減災対策協議会（各機関における取組内容の詳細及び取組状況）

【資料2-2】

主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考
			海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
■ 水害・土砂災害リスク情報等を地域と共有し、命を守るための確実な避難の実現								
1 土砂災害特別警戒区域の調査・周知及び指定	圏域	調査・周知 令和2年9月末まで 指定 令和2年度末まで	目標 取組内容					・土砂災害特別警戒区域の見直し調査・周知及び指定を行い、各町村へ提供。
			R4 取組内容	・調査結果の縦覧	—	・調査結果の縦覧		マップオンしまねにおいて指定箇所を周知
			R5 取組内容	・調査結果の縦覧	—	・調査結果の縦覧		マップオンしまねにおいて指定箇所を周知
2 土砂災害ハザードマップの改良・周知	圏域	令和3年度末まで	目標 取組内容	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。	・土砂災害(特別)警戒区域の公表の後に、土砂災害ハザードマップの見直し。 ・ハザードマップポータルサイトへ登録し、住民等へ広く周知。 ・印刷物の各戸配布。		・新たに作成する浸水想定区域図及び土砂災害警戒区域図を市町へ提供する。 ・最新のハザードマップを出前講座で周知を図る。
			R4 取組内容	・ハザードマップの更新	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知する。	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知する。		・出前講座でハザードマップを周知した。
			R5 取組内容	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知する。	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知する。	・紙媒体、ホームページにより住人へ周知する。		・新たに作成する浸水想定区域図を市町村へ提供する。 ・出前講座等でハザードマップを周知する。

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
				海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県		
3	避難指示等の発令に着目した土砂災害情報伝達体制の確立	圏域	令和6年度	目標 取組内容	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・行動計画を策定 ・情報伝達演習等を通じ、改善を進めながら定着を図る	・土砂災害対応チェックリスト等を基に土砂災害対応タイムラインを作成 ・実事象、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	・水害・土砂災害対応タイムラインの確認・調整。水害・土砂災害対応タイムラインにおいて防災気象情報を有効に活用する観点から助言	・既存の水害・土砂災害対応チェックリストを基に水害・土砂災害対応タイムラインを作成 ・実洪水、情報伝達訓練を踏まえ適宜見直し	
				R4 取組内容	土砂災害タイムラインについて、各町村ごとの行動を整理、作成の上R5の協議会で暫定運用の承認を得る。					
				R5 取組内容	各町村、それぞれで行動計画を作成。次年度以降情報共有をはかる。	地区対との連携(リエゾン派遣等)、災害時道路啓開開始までのフロー等に主眼を置いた行動計画(暫定版)を作成。令和6年度協議会において本運用の承認を得る(情報共有する)。	各町村、それぞれで行動計画を作成。次年度以降情報共有をはかる。	各町村、それぞれで行動計画を作成。次年度以降情報共有をはかる。	各町村、それぞれで行動計画を作成。次年度以降情報共有をはかる。	
4	浸水害、土砂災害の危険度について島根県、気象台からの情報提供(ホットラインの定着)	圏域	令和元年度から継続実施	目標 取組内容	・出水期前の情報伝達演習等を通じるなどにより連絡体制の定着を図る					
				R4 取組内容	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で「洪水予報演習(部外配信を含む)」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施した。	・洪水対応演習(情報伝達)(令和4年5月10日実施)ホットライン訓練を実施した。 ・土砂災害警戒情報伝達訓練(令和4年6月9日実施)による連絡体制の定着を図った。	
				R5 取組内容	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・情報伝達訓練、実事象でホットラインを実施、検証	・引き続き、県主催の「土砂災害に係る情報伝達訓練」に参画。また、県と共同で「洪水予報演習(部外配信を含む)」や「土砂災害警戒情報伝達訓練」等を実施する。	・洪水対応演習(情報伝達)ホットライン訓練を実施する。(令和5年4月28日実施) ・土砂災害警戒情報伝達訓練による連絡体制の定着を図る。(令和5年6月9日実施)	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
5	避難判断を的確に行うための水防・土砂災害危険度情報等提供の充実	圏域	改善された防災気象情報の提供 平成29年度から継続実施 次期水防情報システム 令和元年度から運用 次期土砂災害予警報システム 令和2年度から運用	目標取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報(浸水害・土砂災害)・注意報、洪水警報・注意報について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。土砂災害警戒情報についても島根県と連携して評価・検証を行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知 ・土砂災害危険度情報の運用・周知 	
				R4取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行った。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開した。 ①線状降水帯による大雨の可能性を半日程度前から呼びかけ(令和4年6月1日～) ②大雨特別警報(浸水害)の指標を改善(令和4年6月30日～) ③キキクル(危険度分布)の改善「黒」の新設、「うす紫」と「濃い紫」を統合し、警戒レベルに整合(令和4年6月30日～) ④洪水キキクル上に水害リスクラインを統合して表示(令和5年2月16日～) ⑤指定河川洪水予報(国河川)の氾濫危険情報を予測でも発表(令和4年6月13日～) ⑥高潮の早期注意情報(警報級の可能性)を毎日発表(令和4年9月8日～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知を行った。 ・水位計等の保守を行った。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行った。 	
				R5取組内容				<ul style="list-style-type: none"> ・大雨警報(浸水害)・注意報、洪水警報・注意報の基準について、評価及び検証を継続し、必要に応じ基準の見直しを行う。また、各種プロダクトの改善を随時実施し、HP等により公開する。 ①顕著な大雨に関する気象情報をより早く提供 線状降水帯による大雨の危機感を少しでも早く伝えるため、予測技術を活用し現在より30分程度早く発表。(令和5年5月25日～) 	<ul style="list-style-type: none"> ・水防情報システムの運用・周知を行う。 ・水位計等の保守を行う。 ・土砂災害危険度情報の運用・周知を行う。 	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
6	出前講座や広報紙を活用した防災知識の普及	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・防災出前講座により避難行動や情報収集手段の周知、啓発 ・広報紙への防災特集記事掲載による防災情報発信	・出前講座等により防災気象情報の入手・活用方法を周知し、防災知識の普及・啓発を図る。	・出前講座により防災情報の入手、活用方法を周知 ・広報紙を活用した防災情報発信 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る	
				R4 取組内容	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・(令和4年10月16日)「島根県総合防災訓練」において、展示ブースを開設。広く一般住民に向け防災に関する展示・解説を実施し、防災知識の普及・啓発を行った。	・出前講座により防災情報の入手、活用方法を周知した。 ・広報紙を活用した防災情報発信を行った。 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図った。	
				R5 取組内容	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・防災出前講座開催、広報紙掲載	・引き続き、依頼に基づき、出前講座等の実施や各種訓練に協力する。	・出前講座により防災情報の入手、活用方法を周知する。 ・広報紙を活用した防災情報発信を行う。 ・出前講座等を活用し、マイタイムラインの普及を図る。	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
■ 要配慮者利用施設における確実な避難										
7	要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成支援(水害・土砂災害)	圏域	平成28年度から継続実施	目標取組内容	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度施設管理者宛計画作成・提出依頼 随時面談・電話による作成相談を実施 提出された避難確保計画について点検し、修正の助言を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う(水害・土砂災害)。 	<ul style="list-style-type: none"> 施設管理者向け説明会の開催 モデル施設で作成する避難確保計画を協議会の場で共有 	
				R4取組内容	・作成支援	・作成支援	・作成支援	・協力依頼・要請がなく、未実施。	・説明会の開催等、支援要請なし。	
				R5取組内容	・作成支援	対象施設に対する周知促進、民生部局との連携、作成支援(協議会全体)	・作成支援	引き続き、要配慮者利用施設の管理者が策定する避難確保計画作成及び訓練実施を支援し、防災気象情報を有効に活用する観点から助言を行う(水害・土砂災害)。	・説明会及び避難確保計画作成に協力し、助言を行う。	

	主な取組項目	対象	目標時期	取組機関					備考	
				海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方气象台	島根県		
■ 被災すると社会経済に大きな影響を与える施設や基盤の保全を図る										
8	堆積土砂の撤去等による河川氾濫・浸水害を未然に防ぐ対策	圏域	毎年継続実施	目標取組内容	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施	・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について県と調整し優先箇所を定めて順次実施		・河川整備状況を共有 ・河川改修、水門、排水施設の長寿命化について計画的に実施 ・通水を阻害する堆積土砂・立木の撤去について関係町と調整し優先箇所を定めて順次実施	
				R4取組内容	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	三度川、大橋川【堆積土砂撤去】	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・河道掘削、立木伐採について、巡視・点検結果、地元・町の要望を基に優先順位を決定し、実施	
				R5取組内容	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う	・美田川 【堆積土砂撤去】	・県と調整し、施工が必要な河川等があれば対策を行う		・河道掘削、立木伐採について、巡視・点検結果、地元・町の要望を基に優先順位を決定し、実施	

	主な取組項目	対象	目標時期		取組機関					備考
					海士町	西ノ島町	知夫村	松江地方気象台	島根県	
9	土砂・立木対策の推進	圏域	毎年継続実施	目標 取組内容					・土砂や流木の流出による被害の危険性が高い溪流において土砂・流木の捕捉効果の高い施設整備を推進	
				R4 取組内容					・岩崎の谷川、井奥谷川で土砂・流木対策の整備完了 ・シャモ谷川(久見) 対策施設の詳細設計実施中 用地調査実施予定 ・松田尻川(小路) 対策施設の詳細設計実施中 用地調査実施予定	・西尾の代川で土砂・流木対策の整備概成(西ノ島町) ・知当川で土砂・流木対策の本堤工施工(西ノ島町) ・中別府川で用地買収(西ノ島町) ・藤山川で工事着手(海士町) ・河井川で用地買収(知夫村)
				R5 取組内容					・シャモ谷川(久見) 対策施設の詳細設計実施中 用地調査実施予定 ・松田尻川(小路) 対策施設の詳細設計実施中 用地調査実施予定	・知当川で工事用道路舗装(西ノ島町) ・中別府川で工事用道路施工(西ノ島町) ・藤山川で堰堤工(海士町) ・河井川で水路工(知夫村) ・太井谷川【測量調査設計】